

石綿障害予防規則 第3条第5項に基づく
事前調査における石綿分析結果報告書（証明書）
（定性分析：JIS A 1481-1，定量分析：JIS A 1481-5による）

株式会社〇〇工業 御中

貴社より委託を受けた石綿分析の結果は、下記に記載したとおりであることを証明します。
ただし、本分析の結果は、入手した試料の範囲に限定させていただきます。

記

1. 分析を実施した石綿分析機関

名 称	株式会社岐阜県環境研究所	代表者氏名	村山 雅大
所 在 地	〒501-3763 岐阜県美濃市松原372-2 TEL: 0575-29-7777 FAX: 0575-29-7000		
その他（作業環境測定機関登録）	21-16		
氏名	民間機関による技能評価の取得状況		
渡部 正明	公益社団法人 日本作業環境測定協会 (JIS A 1481-1,-5 Aランク 認定No.2213A0101)		
嶋口 あゆみ	公益社団法人 日本作業環境測定協会 (JIS A 1481-1,-5 Aランク 認定No.2213A0102)		

2. 分析を実施した年月日

分析実施日	2024年 6月 21日 ～ 2024年 6月 25日
-------	-----------------------------

3. 物件名称及び住所

物件名称	〇〇アスベスト事前調査
住 所	岐阜県関市山田地内

4. 分析結果

[illegible]

注1) 石綿の種類の中には、次の記号で記載している。

Chr:クリソタイル Amo:アモサイト Cro:クロシドライト Tre:トレモライト

Act:アクチノライト Ant:アンソフィライト

注2) 推定石綿質量分率の報告区分は“不検出”“検出”“0.1-5%”“5-50%”“50-100%”のいずれかとする。

注3) 推定石綿質量分率の報告区分“検出”は、分析中に繊維が1本又は2本だけ検出されたことを示す。

注4) 同物件のJISA1481-2分析による結果がある案件は別紙にて報告。

注5) 角閃石系の石綿が2種類以上同時に含有していた場合、X線回折ピークがほぼ同位置の為、代表となる石綿で定量分析を行う。

1. 実体顕微鏡の形式

実体顕微鏡の製造業者・形式	製造業者	株式会社ニコン
	形式	SMZ745
倍率		6.7～50

2. 偏光顕微鏡の形式

偏光顕微鏡の製造業者・形式	製造業者	株式会社ニコン
	形式	ECLIPSE LV100ND
コンデンサ		LV-CUD
対物レンズ(倍率)		CFI P （10 倍, 40 倍）
分散対物レンズ		CFI Plan Fluor DS

1. 試料採取履歴

建物、配管設備、機器等の 名称及び用途	名 称	〇〇アスベスト事前調査
	用 途	RC造
施工年及び建築物への 施工などを採用した年	1993年	
採取箇所等の指示(判断)者の 所属、氏名、資格	株式会社〇〇工業 山田 太郎	
採取者の所属、氏名、資格	株式会社岐阜県環境研究所 村山 大和 H2699999	
建物などの採取場所及び 採取部位	採取場所	外部
	採取部位	外壁
試料名称	塗装材	
採取年月日	2024年6月20日	
試料の概要 (形状又は材質、試料の大きさ、 採取方法)	形状又は材質	不定形
	試料の大きさ	—
	採取方法	—

2. 試料調製の状況

試料調製の実施の有無	有
「有」の場合の調製方法	灰化，酸処理

3. 前処理の状況

前処理の実施の有無	無
「有」の場合の前処理方法	—

4. 分析室の温度

分析室の温度(℃)	25.0
-----------	------

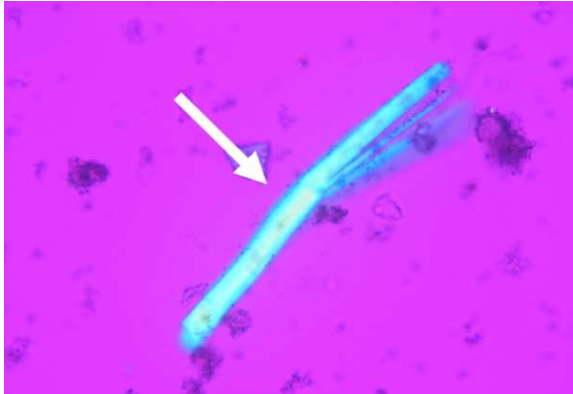
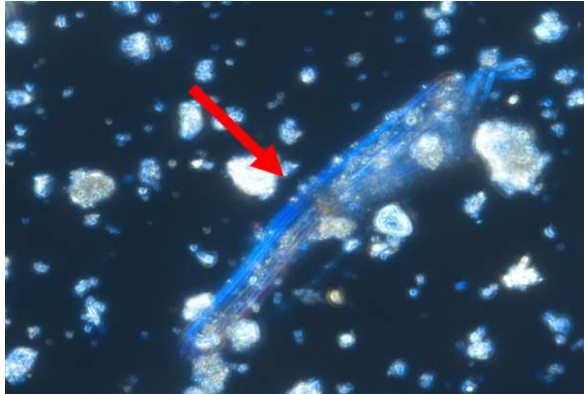
5. 分析結果

No.1	物件名：〇〇アスベスト事前調査 試料名：外部 外壁 塗装材		判 定	
			含有	
外観写真		断面写真		
				
定性分析結果				
層	素材	層構造		検出されたアスベストの種類（推定質量分率）
		色	比率（%）	
①	上塗材	黒	2	—
②	主材	白	5	—
③	調整材	灰	30	Chr (0.1-5%)
④	下地	灰	63	—
⑤				
⑥				
⑦				
⑧				
⑨				
⑩				
定量分析結果				
—				
コメント				

※ 素材、色及び比率については、あくまでも分析者の主観によるものです。

※ 試料写真は、分析試料の代表的な部分が無作為に抽出・加工しており、撮影や印刷の設定により実際の色味とは異なる場合があります。

6. 試料中のアスベスト繊維写真

偏光顕微鏡写真	分散顕微鏡写真
	
アスベスト種類： クリソタイル	

※ 分析フローについては、弊社ホームページをご確認ください。 <https://www.gikanken.com/ourbusiness>

1. 試料採取履歴

建物、配管設備、機器等の 名称及び用途	名 称	〇〇アスベスト事前調査
	用 途	RC造
施工年及び建築物への 施工などを採用した年	1993年	
採取箇所等の指示(判断)者の 所属、氏名、資格	株式会社〇〇工業 山田 太郎	
採取者の所属、氏名、資格	株式会社岐阜県環境研究所 村山 大和 H2699999	
建物などの採取場所及び 採取部位	採取場所	2階待機室
	採取部位	床
試料名称	塩ビタイル	
採取年月日	2024年6月20日	
試料の概要 (形状又は材質、試料の大きさ、 採取方法)	形状又は材質	タイル片
	試料の大きさ	—
	採取方法	—

2. 試料調製の状況

試料調製の実施の有無	有
「有」の場合の調製方法	灰化，酸処理

3. 前処理の状況

前処理の実施の有無	無
「有」の場合の前処理方法	—

4. 分析室の温度

分析室の温度(℃)	25.0
-----------	------

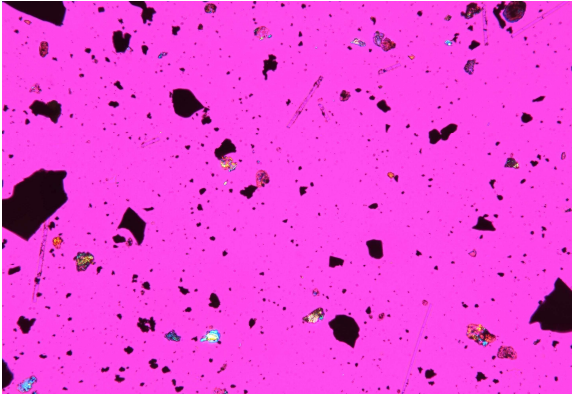
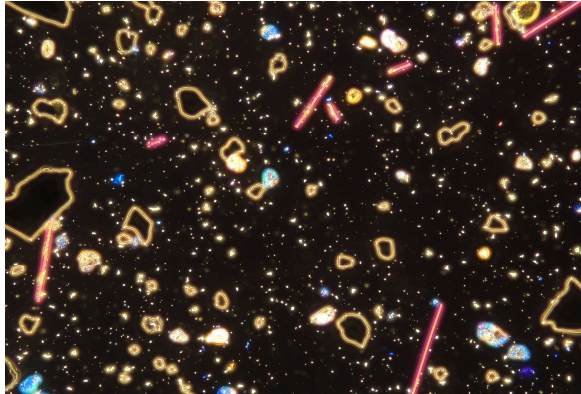
5. 分析結果

No.2	物件名：〇〇アスベスト事前調査 試料名：2階待機室 床 塩ビタイル	判 定	
		含有なし	
外観写真		断面写真	
			
定性分析結果			
層	素材	層構造	検出されたアスベストの種類（推定質量分率）
		色 比率 (%)	
①	塩ビタイル	茶 15	—
②	塩ビタイル	白 5	—
③	塩ビタイル	薄灰 25	—
④	塩ビタイル	灰 20	—
⑤	塩ビタイル	薄灰 25	—
⑥	接着剤	灰 5	—
⑦	調整材	茶 5	—
⑧			
⑨			
⑩			
コメント			

※ 素材、色及び比率については、あくまでも分析者の主観によるものです。

※ 試料写真は、分析試料の代表的な部分を無作為に抽出・加工しており、撮影や印刷の設定により実際の色味とは異なる場合があります。

6. 試料中のアスベスト繊維写真

偏光顕微鏡写真	分散顕微鏡写真
	
不検出	

※ 分析フローについては、弊社ホームページをご確認ください。 <https://www.gikanken.com/ourbusiness>